

製品名: IRE1 α / β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12734**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ERN2
別名	ERN2; IRE2; Serine/threonine-protein kinase/endoribonuclease IRE2; Endoplasmic reticulum-to-nucleus signaling 2; Inositol-requiring protein 2; hIRE2p; Ire1-beta; IRE1b
遺伝子 ID	10595.0
SwissProt ID	Q76MJ5
免疫原	抗血清はヒト ERN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 841-890

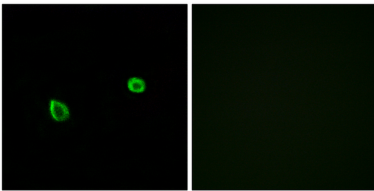
背景

触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: キナーゼドメインはトランス自己

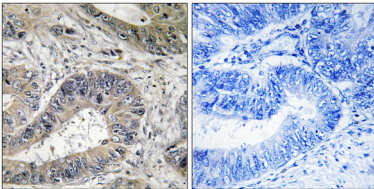
リン酸化によって活性化される。キナーゼ活性はエンドリボヌクレアーゼドメインの活性化に必要である。機能: ER ストレスに応答して 28S リボソーム RNA を切断することにより、翻訳抑制を誘導する。アポトーシス促進性。近縁タンパク質とは異なり、折り畳まれていないタンパク質に対する応答には関与しないと考えられる。PTM: 自己リン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: KEN ドメインを 1 つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: キナーゼドメインはトランス自己リン酸化によって活性化される。キナーゼ活性はエンドリボヌクレアーゼドメインの活性化に必要である。機能: ER ストレスに応答して 28S リボソーム RNA を切断することにより、翻訳抑制を誘導する。アポトーシス促進性。近縁タンパク質とは異なり、アンフォールドタンパク質応答には関与しないと考えられる。PTM: 自己リン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: KEN ドメインを 1 つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。

研究分野

画像データ



ERN2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ERN2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。